



元 気 通 信

～かけ橋～

ブダペスト日本人学校

学校だより 第6号

令和3(2021)年9月23日

校長 松丸 晴美

「先生たちもお勉強？」

晴天に恵まれた9月5日の日曜日、来賓を始め児童生徒のご家族、ハンガリー在住の子供たちやその保護者が一堂に会し、2学期最初の学校行事「ふれあい大運動会」を盛大に開催することができました。

事後に作成された「運動会新聞」を読んでもと、「日頃の練習の成果が発揮できた」「最後まであきらめず全力で取り組めた」「協力して頑張れた」といった児童生徒たちの言葉が綴られており、一人一人、大きな実りが得られたことがわかり、予定通り開催できてよかったなあとしみじみ思いました。

私自身初めて体験する本校の運動会は、日本の運動会の種目にはない魅力があふれた運動会でした。特に、「親子大玉転がし」や「大人の綱引き」では、夢中？になって取り組んでくださる保護者の方々の姿を楽しく応援させてもらいました。運営をお手伝いいただいた保護者の皆さま、ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



【編入学児童の紹介】

宮本桃花(小1) 9月5日より、
田口紗良(小1) 9月23日より。
(敬称略) 以上2名です。
よろしくお願ひします。

さて、運動会の後は、私たち教員の学び合いである「授業研修会」に取り組んでいます。

本校では、文部科学省より派遣された教員、ハンガリー在住の現地採用教員と非常勤講師が協力して児童生徒の教育にあたっています。派遣教員の教職歴や専門教科・所持免許状などは様々で、国の公立学校の基準となる教員定数の約7割にあたる人数しか派遣されません。そのため、どの国の日本人学校においても免許外の教科指導や勤務経験のない校種の担任になることは珍しくありません。日本にいれば教員研修センターや他校で開かれる様々な研修会に参加する私たちですが、海外では不可能です。

そこで私たち教員は、互いの授業を見合せてさらによりよい授業が実施できるよう、指導方法や教材などについて、相互に助言し合う「授業研修会」や教育課題に沿った研修会を行い、授業力の向上や教員としての力量を高めるよう努めています。

今年度は、新学習指導要領に導入された「プログラミング教育」を取り入れた授業の効果的な在り方を中心に研究しています。

ふだんの授業と異なり、先生たちに囲まれ、ノートや作業している場面をのぞかれながら、「あー緊張した」「先生たちもお勉強するの?」とは小学生の声、中学生は平然としたものでした。今後もより良い授業の実現に向けて互いに学び合っていきたいと考えています。



< 本校の新型コロナウイルス感染症防止への対応について >

現在ハンガリーでは、2回のワクチン接種を終えた人が約550万人を超え、12歳以上の子供たちのワクチン接種も進められています。一方で、デルタ変異株における感染拡大も心配されていますが、ワクチン接種の効果もあり、昨年度のような大幅な感染拡大は抑えられているとの見解がハンガリー政府より示されています。新型コロナウイルス感染症の蔓延状況や日本及びハンガリー政府の基本的対処方針は、日を追うごとに変更されます。本校では、児童生徒・教職員の健康状況を把握しながら、これらの通知に沿って、次のとおり対応いたしますので、保護者の皆さまにおかれましても、ご協力方よろしくをお願いいたします。

文科省通知「小学校、中学校及び高等学校における新学期に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底等について」（令和3年8月27日）
文科省『ガイドライン0827』（別添を参照ください）
ハンガリー政府（人材省・国立公衆衛生センター等）による通知等

(1) 児童生徒の感染が判明した場合

・感染した児童生徒については、出席停止とします。行動履歴や**※濃厚接触者等**を慎重に調査し、学校もしくは学級を臨時休業するかしないかについては、ハンガリー政府関係機関及び在ハンガリー日本国大使館に報告し、その指示も受けながら判断します。臨時休業した場合は、授業については**※オンライン授業**を実施する予定です。学校または学級再開は、感染した児童生徒の最終登校日から起算して1週間を目途とします。

※オンライン授業とは・・・ 本校においては、「Google Classroom」による課題型学習と Zoom を使用した双方向型授業を意味しています。

※濃厚接触者等とは・・・ 文科省『ガイドライン0827』及び感染症対策委員会『濃厚接触者・学級閉鎖の考え方』を参考にして調査・判断します。

(2) 教職員の感染が判明した場合

・感染した教職員は、発熱等の風邪症状の有無に関わらず出勤は停止させます。教職員の行動履歴や濃厚接触者等を慎重に調査し、学校もしくは学級を臨時休業するかしないかについては、ハンガリー政府関係機関及び在ハンガリー日本国大使館に報告し、その指示も受けながら判断します。学校または学級再開、当該教職員の勤務再開については、最終勤務日から起算して1週間を目途とします。

(3) 児童生徒の家族の感染が判明した場合

・児童生徒は登校を見合わせて、感染者が受診した医師の指示に従って登校させてください。

(4) 教職員の家族の感染が判明した場合

・判明した時点で自宅勤務とし、感染した家族が受診した医師の指示に従って勤務再開させます。その間、担当している授業は、オンライン授業を実施する予定です。

(5) 家族が濃厚接触者であることが確認された場合

・様々なケースが想定できますので、各ご家庭の判断にお任せしています。

(6) 児童生徒もしくはご家族に発熱や体調不良の方が出た場合

・なるべく登校を見合わせてください。児童生徒本人に体調不良がない時の在宅中の学習支援については、現在は、「Google Classroom」を通じて行っています。

< (3) (5) (6) の児童生徒が体調不良ではない理由で欠席する場合の学習支援について >

今年度学校では、i-padの購入や9月初めに、Wi-Fiの入りにくかった教室など5か所にルーターを新設するなど、これまでよりZoomを使用しやすい環境整備ができました。そこで、感染防止のため、やむを得ない理由で欠席せざるを得ない児童生徒に対する学習支援の方法について、従来の「Google Classroom」に加え、「授業の雰囲気だけでも配信してもらえないか」という保護者の皆さまのご希望にどのようにお応えできるか、再度研究・検討を始めています。10月中を目途に実現できるようにしたいと考えておりますので、詳細が決まりましたら改めてご案内します。

① 濃厚接触者の候補

- ・感染者と同居（寮等において感染者と同室の場合を含む）又は長時間の接触があった者
- ・適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- ・感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）に直接触れた可能性の高い者（1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合がある）
- ・手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なし（※）で、感染者と15分以上の接触があった者（例えば、感染者と会話していた者）

※必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったかについても確認する。

② 濃厚接触者周辺の検査対象となる者の候補

- ・感染者からの物理的な距離が近い、又は物理的な距離が離れていても接触頻度が高い者等（感染者と同一の学級の児童生徒等）
- ・大声を出す活動、呼吸が激しくなるような運動を共にした者等（感染者と同一の部活動に所属する児童生徒等）
- ・感染者と食事の場や洗面浴室等の場を共有する生活を送っている者等（感染者と同一の寮で生活する児童生徒等）
- ・その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等

【学級閉鎖】

○以下のいずれかの状況に該当し、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合、実施する。

- ① 同一の学級において複数の児童生徒等の感染が判明した場合
- ② 感染者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
- ③ 1名の感染者が判明し、複数の濃厚接触者が存在する場合
- ④ その他、設置者が必要と判断した場合（※学校に2週間以上来ていない者の発症は除く。）

○学級閉鎖の期間としては、5～7日程度を目安に判断する。

【学年閉鎖】

○複数の学級を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合、学年閉鎖を実施

【学校全体の臨時休業】

○複数の学年を閉鎖するなど、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合、臨時休業を実施

濃厚接触者・学級閉鎖の考え方

令和3年8月31日
感染症対策委員会

1. 濃厚接触者の候補

- 感染者と同居又は長時間の接触があった者
- 適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- 感染者の飛沫に直接触れた可能性の高い者
- 短時間でも1m以内の距離で互いにマスクなしで会話
- 1m以内で必要な感染予防策なし(※)で、感染者と15分以上接触

※必要な感染予防策：鼻出しマスクや顎マスクでは不適切。

（科学者の緊急声明では、ウレタンや布（フィルター無し）マスクも不適切）

2. 濃厚接触者周辺の検査対象となる者の候補

- 同一の学級、部活動、寮などで生活する児童生徒等
 - その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等
- ※候補の特定が困難な場合、感染者1人でも学級全員候補となりうる

3. 学級閉鎖の基準（閉鎖期間は5～7日間を目安）

- 1クラスに2人以上の感染者
- 1クラスに1人の感染者と1人以上の風邪
- 1クラスに1人の感染者と複数の濃厚接触者

4. 学年閉鎖・学校閉鎖の基準

- 同学年で複数の学級閉鎖で学年閉鎖
- 複数の学年閉鎖で学校閉鎖